

ナレッジマネジメント コンファレンス2018

ナレッジ活用で働き方改革

■開催概要

開催日時：2018年7月31日(火) 11:00～17:00(10:30 開場)

定 員：200名 参加費：無料
会 場：東京コンファレンスセンター・品川

〒108-0075 東京都港区港南1-9-36 アレア品川 3F-5F [JR品川駅港南口より徒歩2分]

主 催



協 力

NEC

NECソリューションイノベータ

OKI

株式会社 沖電気カスタマ アドテック

TMJ

PFU
a Fujitsu company

© 株式会社 日立ハイテクソリューションズ

FUJITSU

FUJITSU 株式会社富士通マーケティング

特別セッション

本田宗一郎との出会い アイルトン・セナの想い出 走る実験室F1レースからの学び
木内健雄氏に聞く 世界で勝つものづくり人づくり

元HONDA F1総監督 **木内 健雄 様**

株式会社東陽テクニカ 技術研究所 所長



聞き手



日経BP社

上席執行役員 日経BP総研所長

望月 洋介 様

〈望月様 プロフィール〉

1987年日経マグロウヒル入社(現日経BP)

2000年日経マイクロデバイス編集長 2005年日経エレクトロニクス編集長

2010年クリーンテック研究所長 2013年電子・機械局長 2017年から現職

先進取組み講演



ナレッジ共有活動をベースにした新たな企業文化創造へのチャレンジ
株式会社LIXIL

情報システム本部 システムインフラ統括部 Information Excellence部
コミュニケーション革新G Knowledge Innovation チーム

村上 修司 様

〈村上様 プロフィール〉

1998年に、LIXILの前身の一つである、トステム株式会社に入社。経理社員として配属され、11年間は工場経理に従事し、国内7工場を回る。その後本社経理部に異動し、全社決算や、経理部門全体の教育関連業務に携わる。2016年4月、工場経理時代に自ら立ち上げ地盤に築き上げてきたナレッジマネジメント活動の全社展開を目的に、情報システム本部へ転属。



“EHS-kass”を利用して「活かす(よい)改善」を集め、「活(い)かした」改善に貢献する

ダイキン工業株式会社 CSR・地球環境センター 中野 裕子 様

〈中野様 プロフィール〉

ダイキン工業株式会社入社後、半導体機器部での業務を経て業務用空調機生産工場で工場の「環境」業務に携わる。2008年より現職である、CSR・地球環境センターでグローバルでの生産工場の「環境」窓口として各種データ集約や各工場での環境活動推進のためのサポート業務を行っている。



運用重視のナレッジサイト活用
～小さなサポートセンターの欲張らない取り組み～

住友林業情報システム株式会社

ICTビジネスサービス部 ユーザーサポートグループ グループリーダー

田中 美和子 様

〈田中様 プロフィール〉

入社後、Officeや各種システムのインストラクター、マニュアル作成、サポート業務を担当。

途中、8年間の住友林業(株)での勤務を経て、2014年より現職。サポート業務における課題の整理や改善、人材育成に取り組んでいる。



10:30 開場

11:00
~
11:30

社長挨拶 お客様企業とともにつくり上げた新製品発表を中心に

アクセラテクノロジ株式会社 代表取締役社長 進藤 達也



近年再び高まってきたナレッジマネジメントのニーズの中で新たな気づきや今この時代ならではのご要望を中心に、新製品のコンセプト・特長をご紹介します。

11:30
~
12:00

ソリューション講演 AI時代の自動翻訳が海外拠点間ナレッジの活用を加速する!

アクセラテクノロジ株式会社 取締役 営業部 部長 松田 潤



製造業における技術やノウハウといったナレッジの活用は、かつてのように日本から海外へと一方向の流通では不十分な時代となりました。主力工場の海外移転とともに生産ノウハウも各拠点に分散し、また現地ならではの市場ニーズも把握しなければならないからです。私たちは、このような課題にこたえるため、近年AIの進歩により精度の高まった自動翻訳技術をナレッジベースに統合する提案をいたします。これにより、言語の壁をなくし、海外拠点間でのタイムリーなナレッジマネジメントを促進します。

12:00
~
12:40

先進取組み講演 ナレッジ共有活動をベースにした新たな企業文化創造へのチャレンジ

株式会社LIXIL

情報システム本部 システムインフラ統括部 Information Excellence部

コミュニケーション革新G Knowledge Innovation チーム

村上 修司様



私たちは、自主参加型の部門横断的なナレッジマネジメントを推進しています。「楽しみながら」や「誰もが輝ける場」をコンセプトに、自発的なナレッジ共有を促進しています。2017年より基幹システムにBizAntennaを導入し、活動の更なるレベルアップを進めています。

12:40~13:30 昼食・休憩 50分間 (お弁当、デモ展示)

13:30
~
14:30

特別セッション 木内健雄氏に聞く 世界で勝つ ものづくり人づくり

元HONDA F1総監督 株式会社東陽テクニカ 技術研究所 所長 木内 健雄様



【聞き手】日経BP社 上席執行役員 日経BP総研所長 望月 洋介様

本田技術研究所で36年にわたり、電子制御等によるエンジンの高性能化、ハイブリッド、燃料電池などの幅広い開発に従事され、ホンダ F1の第2期にはアイルトン・セナ、アラン・プロストの専属エンジニア、第3期には総責任者として輝かしい実績を残された木内健雄氏をゲストに迎え「世界で勝つ ものづくり人づくり」をテーマに

本田宗一郎氏との出会いやアイルトン・セナとの想い出、走る実験室であるF1レースからの学びなども交え、お話を伺います。

14:30
~
15:00

ソリューション講演 ナレッジマネジメントによる働き方改革 ~アクセラテクノロジ自社での経験から~

アクセラテクノロジ株式会社 取締役 製品開発部 部長 萩原 純一



働き方改革に対して、当社はナレッジマネジメントによる開発の生産性向上に取組んできました。

その成果として、2016年の平均残業53時間から、2017年は27時間、今年は19時間と改善しています。

単なる残業規制だけでは成果の維持は困難なため、開発管理手法を刷新し、毎日の朝会・作業項目の詳細化・定期的振り返り会など、ナレッジ共有の具体的な取組みを実施。仕事の属人化による特定メンバーの負荷増大や後工程での手戻り発生などを防いでいます。

現在では全社(含営業・管理)での取組みとなり成果を上げています。本講演が皆様の取組みのヒントになれば幸いです。

15:00~15:20 休憩 20分間 (お菓子・コーヒー、デモ展示)

15:20
~
16:00

先進取組み講演 “EHS-kass”を利用して「活かす(よい)改善」を集め、「活(い)かした」改善に貢献する

ダイキン工業株式会社 CSR・地球環境センター 中野 裕子様



M&Aにより年々、連結会社数が増加していく中で、グループ会社間でのオペレーションのギャップが課題でした。

そのギャップを減少するために改善活動を共有して欲しいという現場からのニーズを受け、BizAntennaを導入しました。

担当者同士がどのように情報共有しているかをご紹介します。

16:00
~
16:40

先進取組み講演 運用重視のナレッジサイト活用 ~小さなサポートセンターの欲張らない取り組み~

住友林業情報システム株式会社

ICTビジネスサービス部

ユーザーサポートグループ グループリーダー 田中 美和子様



業務のシステム化や利用ツールの拡大に伴い、問合せの種類や件数は増大する一方です。当社はBizAntennaを導入し、

ユーザー向けFAQとオペレーター向けナレッジサイトの2種類をオープンしました。仕組みや運用重視の取組についてご紹介します。

※プログラムは、予告なしに内容や順番などを変更することがございます。ご了承ください。

ご参加は事前登録制です。参加登録は担当営業までお問合せいただぐか、以下のサイトよりお申込みください。

「ナレッジマネジメントカンファレンス2018」参加登録サイト
<https://www.accelatech.com/seminars/kmc2018>

右のQRコードからもアクセスいただけます。

